

青梅商工会議所共催 経営講習会報告

西多摩建設業協同組合
事業委員会
委員長 古屋 英司

去る12月8日、恒例となりました経営講習会を青梅商工会議所建設業部会と合同で開催しました。

今回のテーマは「マグロ船に学ぶ！職場をイキイキさせる秘訣」です。講師の齋藤さんが体験されたマグロ漁は、全長20m程の漁船の中に10人の漁師が乗り込み40日後に日本に帰ってくるというものでした。

「この船は毎回トップクラスの売り上げがあるのはなぜだろう？」という疑問から人間関係に着目し、多くのことに気付かれたそうです。

船長さんが長い年月をかけて体得したであろう、「人間関係のキモ」ともいえる部分を分析し、我々にも分かり易く話していただきました。

マグロ漁船という限られた空間で、「如何にストレスを溜めずにより多くの水揚げ量を確保するか」そのための知恵と工夫が多くありました。またそれは、マグロ漁船に限らず全ての人間関係に言えることであると思われます。

その一部をご紹介しますと、

- ・職場の人間関係が良くなる3大要素
- ・正しい意見を言う会議はダメになる
- ・自分の才能がどこにあるのかを見つける方法
- ・マグロ船に学ぶ強い組織になる方法
- ・船長に必要な器とは？等

建設業では、人との係わりは会社内に限りません。作業現場では工事発注者、道路管理者、電気・ガス・水道等の関係企業、下請負業者、周辺住民等々、多くの人とのコミュニケーション能力が必要とされます。この能力を伸ばしていくことで、現場が円滑に進み結果的に利益が生まれる。

「まず利益ありき」の考え方を改めるべきであると気づかされました。

また、家族間、隣近所、友人との良好な関係を築くためにも今回の講習は役に立つのではないのでしょうか。

会員各位の会社内・作業現場で円滑なコミュニケーションが図られ、無事故で竣工を迎えられることをお祈り申し上げます。

終わりに講師の齋藤さま、共催頂きました青梅商工会議所建設部会さまに改めて感謝申し上げます。



平成23年度あきる野市総合防災訓練に参加

あきる野地区委員会

日時：11月20日（日曜日）午前8時30分～

会場：増戸小学校校庭（メイン会場）

参加団体：あきる野市、秋川消防署、警察署、あきる野市消防団、町内会・自治会、国交省、自衛隊、赤十字、あきる野市建設防災協力会、西多摩緊急災害協力会、あきる野電設協力会、東京電力、NTT、東京都公園協会、他

当委員会では、あきる野市建設防災協力会として参加。

予定した重機等による訓練は、前日の大雨によるグラウンドコンディション悪化により中止となりましたが、各団体の訓練を視察・体験参加し、防災意識を高めました。

委員：馬場英明



西建協だより

209号

2011年
12月

西

『あいさつ』

青梅市長 竹内 俊夫

西多摩建設業協同組合の皆様には、日ごろから、市行政に対しまして深いご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

この度の青梅市長選挙におきましては、市民の皆様をはじめ、各方面からの温かいご支援を賜り、引き続き四期目の青梅市政の重責を担わせていただくことになりました。

市長就任以来、都市計画道路三路線の着工、火葬場の改築、河辺駅北口や中央図書館の整備など、まちの基盤整備に取り組み、昨年五月には、念願でありました新庁舎の完成をみました。

行財政改革、地域公共交通、中心市街地活性化、少子高齢対策、青梅インター周辺整備など、まだまだ多くの課題が山積しております。

「第六次青梅市総合長期計画」を策定し、これからの青梅市の進むべき道筋を定め、しっかりとした将来展望のもとに、市政を進めてまいります。また、今般の東日本大震災の教訓から、防災対策の充実はもとより、地域の絆を大切にし、安全・安心のレベルをワンランク向上させる視点で、これからのまちづくりに取り組む所存です。

東日本大震災の影響や、歴史的な円高などを背景とした厳しい経済情勢の中、地域

の建設業を取り巻く経営環境は、極めて厳しい状況にあると認識しております。青梅市におきましても、建設業界の皆様様の資金調達の効率化・迅速化に資するため、工事代金の調達を円滑にする制度への支援について、積極的に対応してまいります。

これまで培った経験を活かし、青梅市の財産である豊かな自然や歴史・文化を大切にして、「暮らしやすき日本一」の青梅市を目指して全力で市政運営に取り組んでまいります。

皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、西多摩建設業協同組合のますますのご発展と会員皆様方のご健勝を祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。

◇日建学院青梅認定校（西建協）からのご案内◇

受講生募集案内（青梅認定校）

受験予定の方々にご案内いたします。

- | | | |
|-----------------|------|-------------|
| ◎2級建築士学科（日曜）コース | 講義日程 | 1月中旬スタート |
| ◎1級建築施工管理技士学科講座 | 講義日程 | 24年2月初旬スタート |
| ◎1級土木施工管理技士基礎講座 | 講義日程 | 24年3月中旬スタート |

1級建築施工・1級土木施工は、学費が会社負担の場合「建設教育訓練助成金」が受けられ学費の50%（最高額10万円）が助成されます。

西多摩建設業協同組合が「日建学院認定校」として青梅校を開講いたしますので、会員企業の皆様からの受講問合せ（受講申込）等の連絡をお待ちしております。

*詳細説明は随時致します。

*先ず下記までお問合せ下さい。

*連絡先 青梅校（西建協）事務局 0428-22-6245 石川
日建学院立川校 042-527-3291 担当：澤田

建設業年末年始労働災害防止強調月間

平成23年12月1日から平成24年1月15日

無事故の歳末 明るい正月

建災防西多摩分会

平成23年度青梅労働基準監督署管内労働災害発生状況
(10月末現在)

業種	平成22年	平成23年	増減
製造業	① 57	60	+5.2%
建設業	② 34	② 33	-3.0%
運輸交通・貨物取扱業	32	23	-28.1%
商業	32	31	-3.1%
保健衛生業	35	30	-14.3%
接客娯楽業	24	21	-12.5%
清掃・と畜業	① 13	7	-46.2%
その他の三次産業	29	23	-20.7%
上記以外	② 26	18	-30.8%
全産業計	⑥ 282	② 246	-12.8%

○は死亡

11月事業報告

- 4日 事業委員会
- 11日 広報委員会 208号編集発行
- 14日 総務委員会
- 16日 あきる野地区委員会
- 17日 理事会

12月事業計画

- 6日 正副理事長会
- 6日 西建協 若手経営者の会 懇親会
- 7日 第13回西多摩地区安全衛生大会
羽村市生涯学習センター ゆとろぎ 小ホール
13時30分から16時30分
・好事例発表
経営トップの安全衛生メッセージ
・特別講演
「鉄道のヒューマンエラー事故防止に向けた取り組み」
講師 公益社団法人 鉄道総合技術研究所
人間科学研究部長 鈴木浩明氏
- 8日 第2回 経営講習会 青梅商工会議所建設業部会共催
会場 西多摩建設業協同組合 3階大会議室
テーマ『マグロ船に学ぶ！ 職場をイキイキさせる秘訣』
- 8日 事業委員会
- 9日 年末年始工事現場安全パトロール 2班 4現場
- 9日 広報委員会 209号編集発行
- 16日 あきる野地区委員会
- 19日 総務委員会
- 21日 理事会

西多摩建設業協同組合 新年懇親会

日時 24年1月24(火曜日) 午後6時～
会場 青梅市福祉センター 3階 すずらん

特集 西多摩の滝

第2回 師走・新年の檜原を歩く

①華水の滝〈小岩バス停から徒歩30分〉

小岩のバス停から都道を西に30mほど進むと、人家の手前に左に入る小道があり、その際に滝の道標があります。ここが入り口です。小さな橋を渡り別荘の裏側の道を進みます。小さな沢を越えるのに木橋、木道を通るので足下には多少注意が必要です。北秋川に沿っていた道はやがて支流の沢に入り、標高も高く奥山の雰囲気変わります。都道から徒歩25分ほどで華水の滝に着きますが、ハイキング程度の足回りは必要です。

この滝の近くに鉱泉が湧き、その硫黄分が、滝の岩壁を流れ落ちながら表面に“花”水（はなみず）の滝と呼ばれるようになった。これから汲んだ鉱泉を風呂に使うなど、地域で利用されていたが、関東大震災（大正12年）地殻変動で鉱泉の湧出は止まってしまった。今では“花”の文様を見ることはできないが、名称は当時の名残である。高さ3段で36mあるが、観賞できるのは最下段の25mだけ。ただし、冬季の落葉時には対岸の林内からの滝の上段を見ることができる。



②夫婦の滝

北秋川の支流湯久保沢の奥に位置する夫婦



の滝は、湯久保と尾根通りを結ぶ山道を利用してアプローチします。小沢から湯久保までは、自治会館前の夏地橋を渡り、舗装道路を2.5km直進すると行き止まり。ここに道標があり、山腹を縫うように山道を進みます。夫婦の滝に落下する2本の沢を越え、少し登れば滝の降り口です。尾根通りからは、小岩の羽根撞橋の西詰めを右折して2kmほど進むと廃屋の前に道標があります。ただし、尾根通りの入り口は復員が狭く、かなり急坂の道が続くので一般の車での進入はお勧めできません。ハイキング向きの滝です。

湯久保沢の奥にある夫婦（めおと）の滝は、どちらも高さは10m前後。山奥なので辿り着くのに多少苦労する。しかし、森閑とした山中で、淵に落ちる2本の白い流れを目にすれば感動！しかも、この滝は異なる2つの沢の流れが滝の上で偶然出会っている。とても珍しい出会いの滝だ。

（掲載第3回）

建設・土木工事における
反社会的勢力排除の基礎知識 Q&A 全114項目・資料より
下記に一部掲載しました。

監修・犬塚 浩（弁護士）京橋法律事務所所属

（建設業界の特殊性と解除要件）

Q27. 建設業界の特殊性を考慮して解除要件として規定しておいたほうがいい事項はありますか。

- A. 建設業界の特殊性として、元請か、1次下請け、2次下請け、…と数次にわたり下請け関係の重層構造が存在することが挙げられます。
例えば、2次下請けが反社会的勢力と関与した場合であっても、元請け企業は、反社会的勢力と関係のある企業を使ったとして社会的な批判を浴びる恐れがあります。
しかし、元請け企業が契約するは1次下請けであり、2次下請けと直接契約関係にありません。
したがって、2次下請けが反社会的勢力に関与していることが判明した場合には、元請けは、このような2次下請けとの取引をやめようとし、1次下請けとの契約を解除することができるように工夫しておく必要があります。
例えば、解除要件の一つに、「自らの下請け（下請けが数次にわたるときはその全てを含む。）が反社会的勢力であることが判明したとき」という要件を入れておくことが考えられます。